新日軽

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様にお渡しください。

シャッターゲートM型
取付説明書

INDEX

工事店様へのお願い

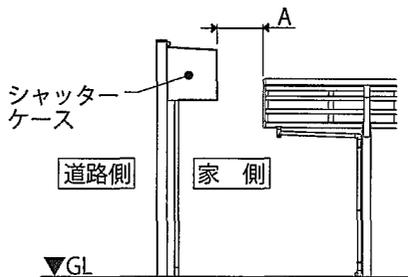
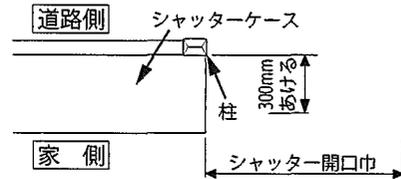
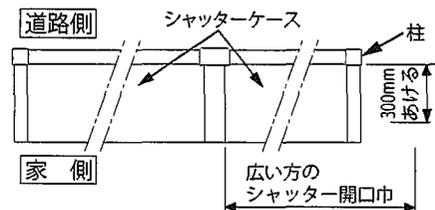
●商品の施工につきましては、必ずこの説明書に従ってください。
●本説明書及び同梱の「取扱説明書」は、下記の手順に従って必ず施主様へお渡しください。

取付説明書：販工店様
▼
電気工事店様
▼
販工店様
▼
施主様

取扱説明書：販工店様
▼
施主様

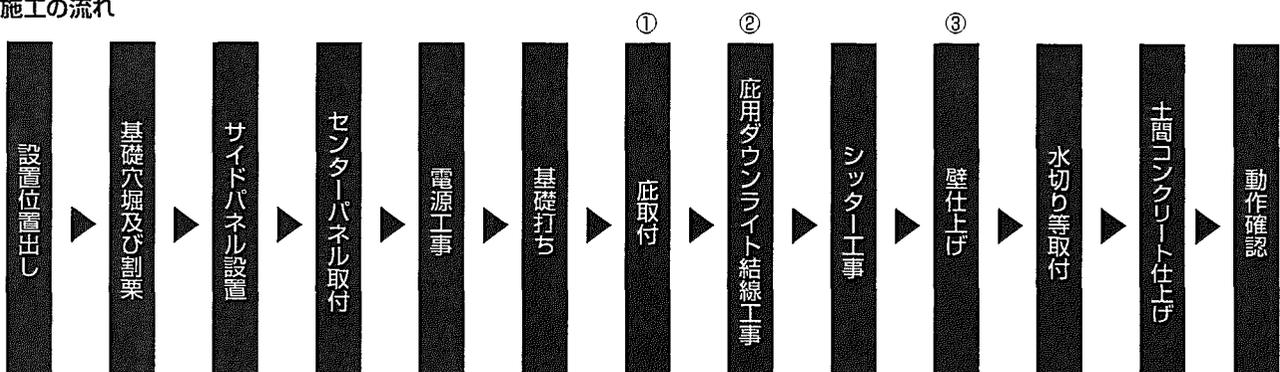
●製品の引渡し時には、施主様に使用方法・使用上の注意・お手入れ方法等の説明を十分に行ってください。

設置上の注意事項　設置にあたっては次の点をご注意ください。

●施工場所に商品が寸法的に納まることを確認してください。
●柱は地中に埋め込み、必ずコンクリートで固定してください。
●柱の基礎穴に他の配管（水道、ガスなど）が埋め込まれていないことを確認してください。
●開口部（シャッター座板が接地する部分）は、必ず水平に仕上げてください。
●ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化･剥離(はくり)、また排気ガスによるアルミ商品（スチール･ステンレス含む）の腐食の原因になります。
●カーポートが先に施工してある場合は、A=500mm 以上あけてください。（シャッターの施工に必要です。）
●シャッター施工後にカーポートを施工する場合は、A=150mm 以上あけてください。（シャッターのメンテナンスに必要です。）

●アルミスラットタイプシャッター、またはハイリンクタイプシャッターの場合は、必ず家側の左右どちらかにシャッター開口巾分以上のスペースを確保してください。シャッターの組立に必要です。

●連棟でアルミスラットタイプシャッター、またはハイリンクタイプシャッターで左右の開口巾が違う場合や 3 台用の場合は、必ず家側の左右どちらかに、開口巾の広い方のシャッター開口巾分以上のスペースを確保してください。シャッターの組立に必要です。

●柱の家側は、300mm 以上あけてください。レールの取付け・メンテナンスができなくなります。

施工時の注意事項　施工にあたっては次の点をご注意ください。

●一次側電源工事及び結線は、有資格者の電気工事店様にご依頼ください。
●基礎施工は基準通りに行ってください。また、現場の状況（軟弱地盤など）に応じて基礎の大きさを考慮してください。
●モルタルやコンクリート用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、アルミの腐食の原因になりますのでご使用を避けてください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物･珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学製品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●養生期間は十分（4 日～1 週間）にとり、養生期間中は重い物をのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●みだりに改造・変更をしないでください。

■施工の流れ

注）①②：庇（オプション）取付の場合
③：下地ボードタイプの場合

姿図

M1型

車1台用
全幅：GW+570=3435
285
ゲート開口幅：GW=2865
285
2.5
有効開口（シャッター開口幅）：W=GW-5=2860
2.5
24
502.5
113
276.5
113
全高：H+526.5=2826.5
シャッター開口高さ：H=2300
231
G.L.
500
100
285
柱内々寸法：GW=2865
285
800
GW−515=2350
800
175
67
132
445
光電スイッチ位置
（電動シャッターの場合）
350
150
100
800
車2台用
全幅：GW+570=5675
285
ゲート開口幅：GW=5105
285
7.5
有効開口（シャッター開口幅）：W=GW-15=5090（アルミ・ハイリンク）
W=GW-5=5100（パイプ）
7.5
24
637
113
411
113
全高：H+661=2961
シャッター開口高さ：H=2300
231
G.L.
500
100
285
柱内々寸法：GW=5105
285
800
GW−515=4590
800
175
80
132
550
光電スイッチ位置
350
150
100
1000

M2型

車１台用
全幅：GW＋570＝3435
ゲート開口幅：GW=2865
有効開口（シャッター開口幅）：W=GW-5=2860
285
2.5
全高：H＋526.5＝2826.5
シャッター開口高さ：H=2300
502.5
24
231
500
100
柱内々寸法：GW=2865
800
GW－515＝2350
113
276.5
350
132
445
光電スイッチ位置
（電動シャッターの場合）
150
G.L.
車２台用
全幅：GW＋570＝5675
ゲート開口幅：GW=5105
有効開口（シャッター開口幅）：W=GW-15=5090（アルミ・ハイリンク）
W=GW-5=5100（パイプ）
7.5
全高：H＋661＝2961
637
411
550
柱内々寸法：GW=5105
GW－515＝4590
1000
光電スイッチ位置

N1 型連棟

（注）本図は（車４台用連棟・２＋２台用）を示し、〔　　〕内は（車３台用連棟・２＋１台用）で左側２台用、右側１台用の場合を示す。
（左右反転納まりも可能）

N2型連棟

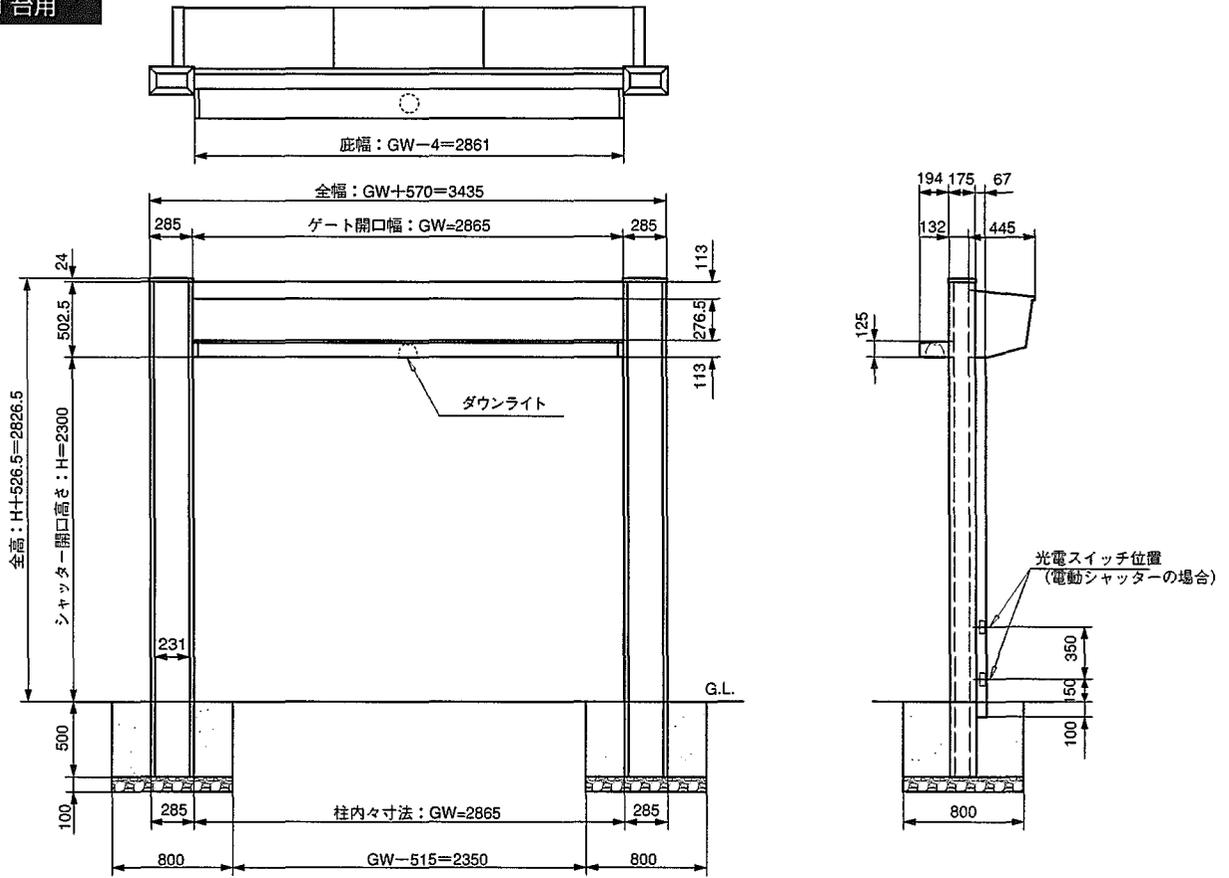
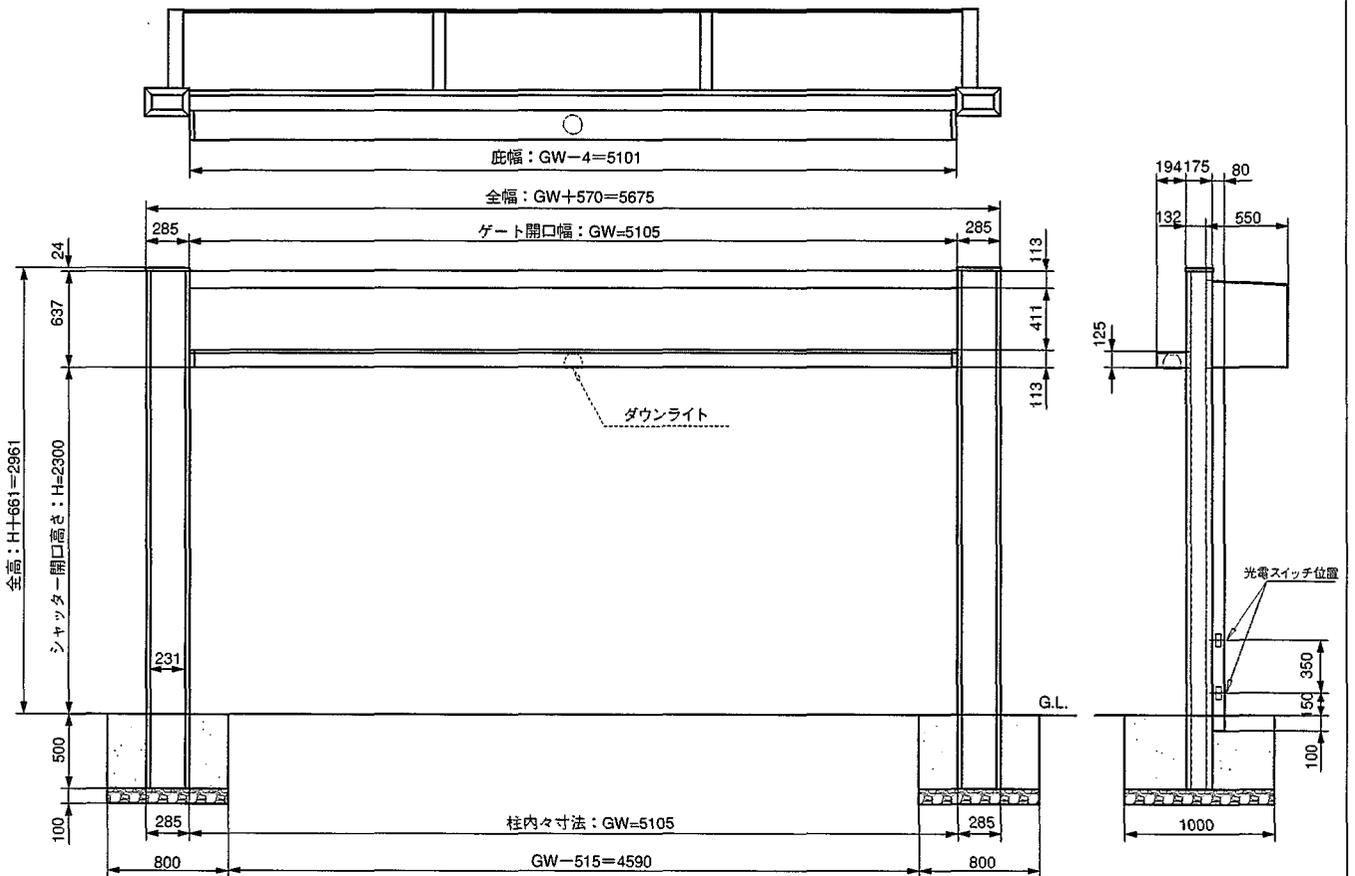
車２台用連棟（1+1台用）

全幅：GW+GW+855=6585
285 ゲート開口幅：GW=2865 285 ゲート開口幅：GW=2865 285
シャッター開口幅：W=GW-5=2860 シャッター開口幅：W=GW-5=2860
2.5 2.5 2.5 2.5
24 502.5 全高：2826.5 シャッター開口高さ：H=2300 231 500 100
113 276.5 113
G.L.
285 柱内々寸法：GW=2865 285 柱内々寸法：GW=2865 285
800 GW-615=2250 1000 GW-615=2250 800
350 132 445
光電スイッチ位置（電動シャッターの場合）
350 150 100
800

車４台用連棟（2+2台用）/車３台用連棟（2+1台用）

全幅：GW1+GW2+855=11065〔8815〕
285 ゲート開口幅：GW1=5105〔5105〕 285 ゲート開口幅：GW2=5105〔2855〕 285
シャッター開口幅：W1=GW1-5=5100〔5100〕(グリル) シャッター開口幅：W2=GW2-5=5100〔2850〕(グリル)
W1=GW1-15=5090〔5090〕(アルミ・ハイリンク) W2=GW2-15=5090〔2840〕(アルミ・ハイリンク)
2.5 2.5 2.5 2.5
24 637 2961 シャッター開口高さ：H=2300 231 500 100
113 411 113
G.L.
285 柱内々寸法：GW1=5105〔5105〕 285 柱内々寸法：GW2=5105〔2855〕 285
800 GW1-615=4490〔4490〕 1000 GW2-615=4490〔2240〕 800
350 132 550
光電スイッチ位置
350 150 100
1000

（注）本図は（車４台用連棟・２＋２台用）を示し、〔　〕内は（車３台用連棟・２＋１台用）で左側２台用、
右側１台用の場合を示す。（左右反転納まりも可能）

庇（オプション）納まり

（注）本図はM１型の場合を示し、M２型の場合も納まりは共通とする。

梱包内容一覧（単体）

車１台用

■センターパネルセット

名　称		数量
センターパネルセット組立		1
幅決め材		1
上下枠取付アングル		4
幅決め材用取付アングル		2
W セムスボルト M8 × 25		16
ナベタッピンネジ（2 種）4 × 20		4
ナベテクスネジ 4 × 13		4
取付説明書		4
取扱説明書		1
シャッター関係取付説明書　※1		2
シャッター取付用部品袋　※2		
内容	トラスタッピンネジ（2 種）4 × 10	12
	トラスタッピンネジ（3 種）4 × 16	12
	特皿タッピンネジ（3 種）4 × 20	10

※1・※2　シャッター取付担当者にお渡しください。

■サイドパネルセット（右）（左）

名　称	数量
センターパネルセット（右）（左）組立	1
レール（右）（左）	1
レールカバー	1
アンカー棒	1

■水切り材セット

名　称	数量
水切り材	1
水切りサイドキャップ（右）（左）	各 1
トラスタッピンネジ（3 種）4 × 12	7
トラスタッピンネジ（2 種）4 × 10	2

■１台用サイドカバーセット

名　称	数量
1 台用サイドカバーセット（右）（左）	各 1
トラスタッピンネジ（3 種）4 × 12	4
ナベテクスネジ 4 × 13	4

オプション部材

■庇セット

名　称	数量
庇本体	1
庇受け	1
十字穴付 W セムスボトル M6 × 25	12
トラスタッピンネジ（3 種）4 × 12	6
ナベテクスネジ 4 × 13	11
ダウンライト（BFD10831S）	1

車２台用

■センターパネルセット

名　称		数量
センターパネルセット組立		1
幅決め材		1
上下枠取付アングル		4
幅決め材用取付アングル		2
W セムスボルト M8 × 25		16
ナベタッピンネジ（2 種）4 × 20		4
ナベテクスネジ 4 × 13		4
取付説明書		1
取扱説明書		1
シャッター関係取付説明書　※1		1
シャッター取付用部品袋　※2		
内容	W セムスボルト M12 × 30	4
	トラスタッピンネジ（2 種）4 × 10	12
	ナベタッピンネジ（3 種）4 × 6	26

※1・※2　シャッター取付担当者にお渡しください。

■サイドパネルセット（右）（左）

名　称	数量
センターパネルセット（右）（左）組立	1
レール（右）（左）	1
レールカバー	1
アンカー棒	1

■水切り材セット

名　称	数量
水切り材	1
水切りサイドキャップ（右）（左）	各 1
トラスタッピンネジ（3 種）4 × 12	7
トラスタッピンネジ（2 種）4 × 10	2

オプション部材

■庇セット

名　称	数量
庇本体	1
庇受け	1
十字穴付 W セムスボトル M6 × 25	12
トラスタッピンネジ（3 種）4 × 12	6
ナベテクスネジ 4 × 13	11
ダウンライト（BFD10831S）	1

梱包内容一覧（連棟専用部材）

車２台用連棟（1+1 台用）

■連棟用サイドパネルセット

名　称	数量
センターパネルセット組立	1
レール（右）（左）	各1
レールカバー	2
アンカー棒	1

■１台連棟用カバー材セット

名　称	数量
1 台用連棟用カバー（上）	1
1 台用連棟用カバー（下）	1
1 台用連棟用ジョイント	1
ナベテクスネジ（パッキン付）4 × 20	7
バインドタッピンネジ（3 種）4 × 12	3

車４台用連棟（2+2 台用）／車３台用連棟（2+1 台用）

■連棟用サイドパネルセット

名　称	数量
センターパネルセット組立	1
レール（右）（左）	各1
レールカバー	2
アンカー棒	1

オプション部材

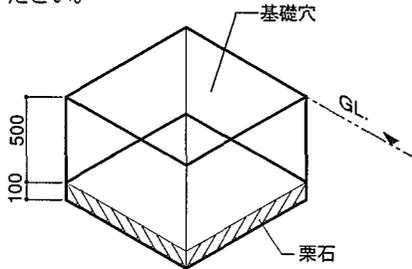
■庇セット（車３台；1 台側用）

名　称	数量
庇本体	1
庇受け	1
十字穴付 W セムスボトル M6 × 25	12
トラスタッピンネジ（3 種）4 × 12	6
ナベテクスネジ 4 × 13	11
ダウンライト（BFD10831S）	1

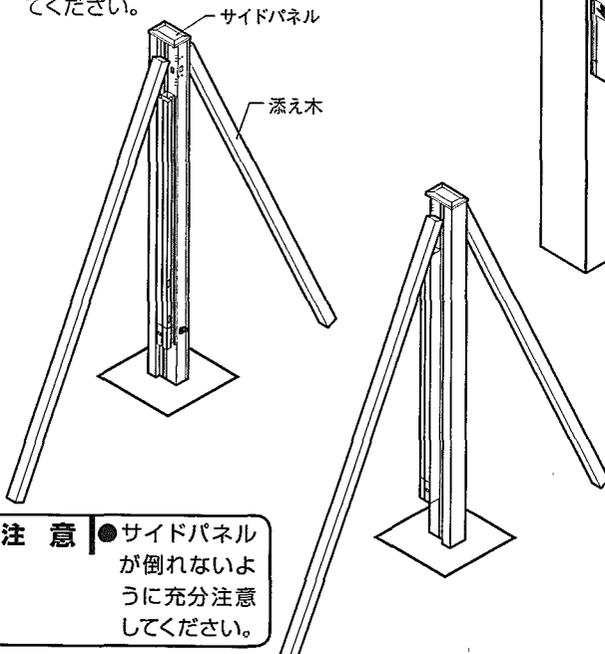
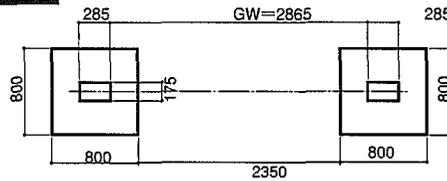
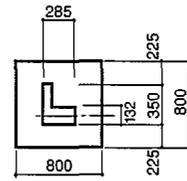
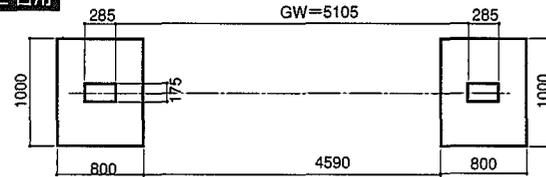
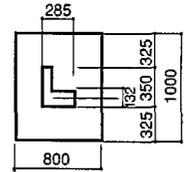
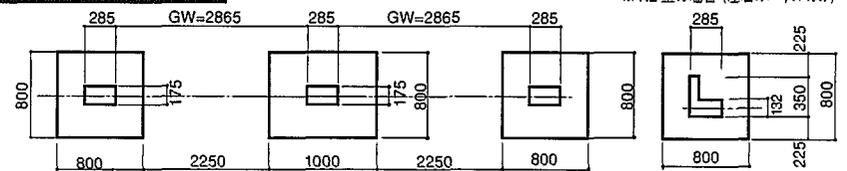
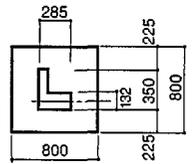
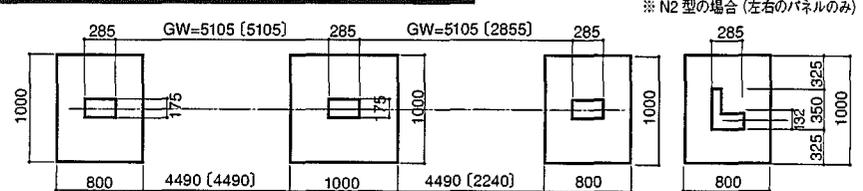
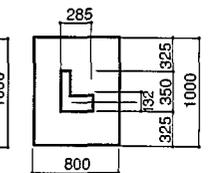
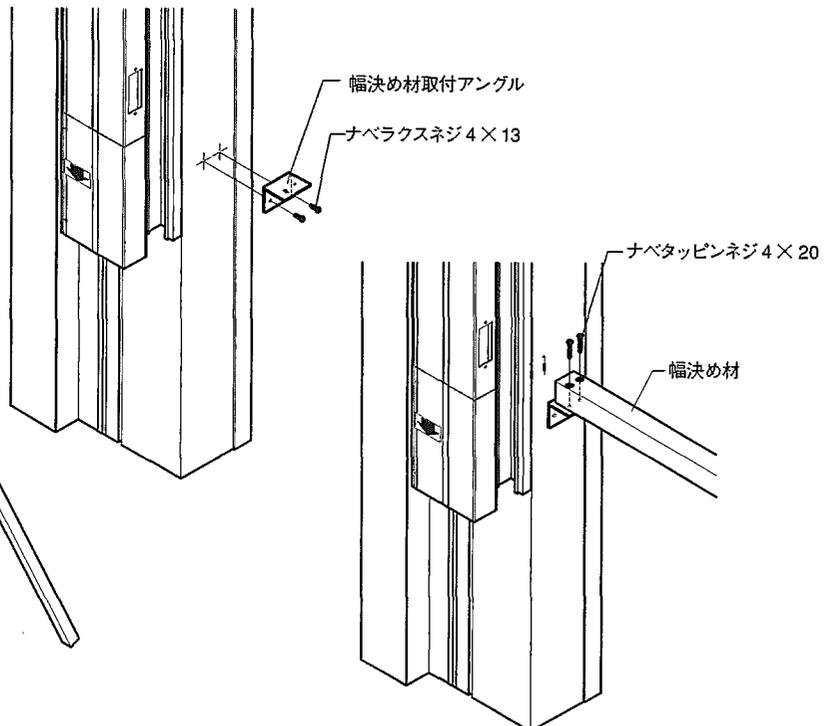
施工手順

基礎の施工

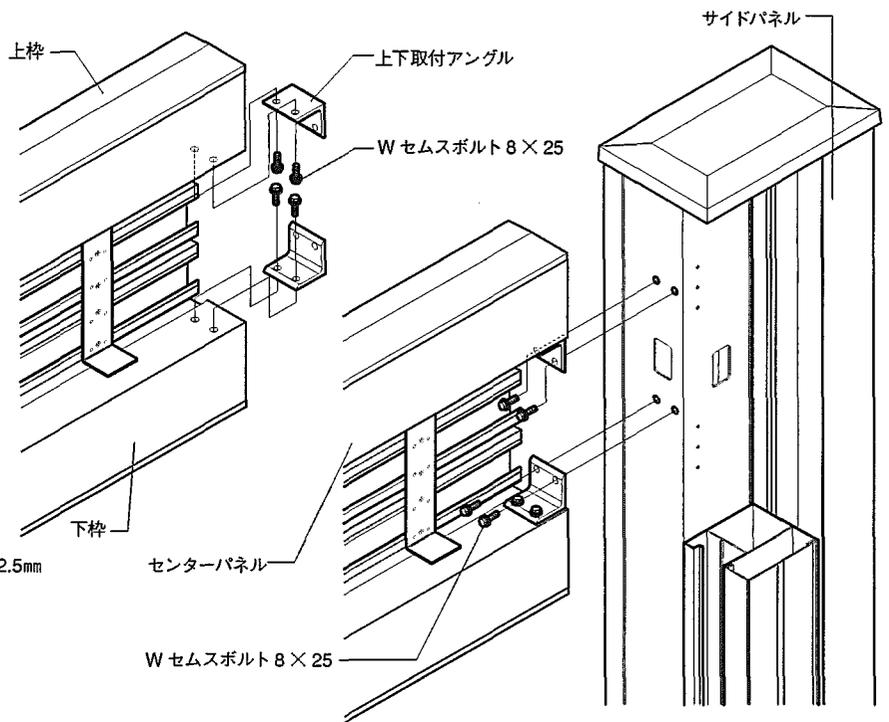
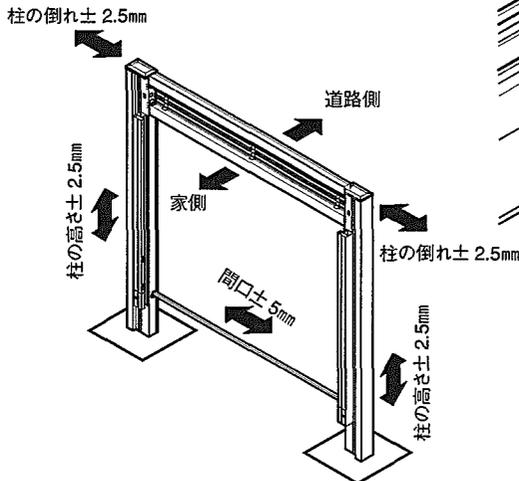
①納まり図を参照の上、サイドパネルの設置位置を決めてください。
②基礎穴を掘って栗石を敷き、突き固めてください。

（注）〔　〕内は車3台用連棟（2+1台用）で左側2台用、右側1台用の場合を示す。（左右反転納まりも可能）

注　意
- ●地下埋設物の有無を確認し、それらを破損しないようにしてください。
- ●電動タイプ及び庇付の場合は、道路側から見て左側の柱に一次電源を設置することを考慮して位置決めしてください。
- ●サイドパネルは重量物ですので、栗石の突き固めは必ず行ってください。

サイドパネルの設置

①サイドパネルの支柱に幅決め材取付アングルを取り付けてください。
②サイドパネルを基礎穴内に設置し、添え木をして自立させてください。
③幅決め材を幅決め取付アングルに取り付け、位置調整、水平・垂直度の調整を行ってください。

注　意
- ●サイドパネルが倒れないように充分注意してください。

センターパネルの取付

①上下枠に上下枠取付アングルを取り付けてください。
②センターパネルをサイドパネルに取り付けてください。
③センターパネル取付後、間口、柱の倒れ等の寸法確認をしてください。

上枠
上下取付アングル
W セムスボルト 8 × 25
サイドパネル
下枠
センターパネル
W セムスボルト 8 × 25

注　意 ●各部の寸法は、必ず許容差以内に納まるようにしてください。許容差を超えると、シャッターが取り付けられなかったり、動作不良を起こす怖れがあります

一次側電源の設置及びダウンライト（オプション）用電源の設置

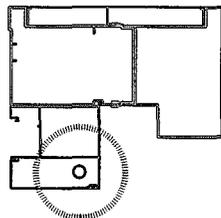
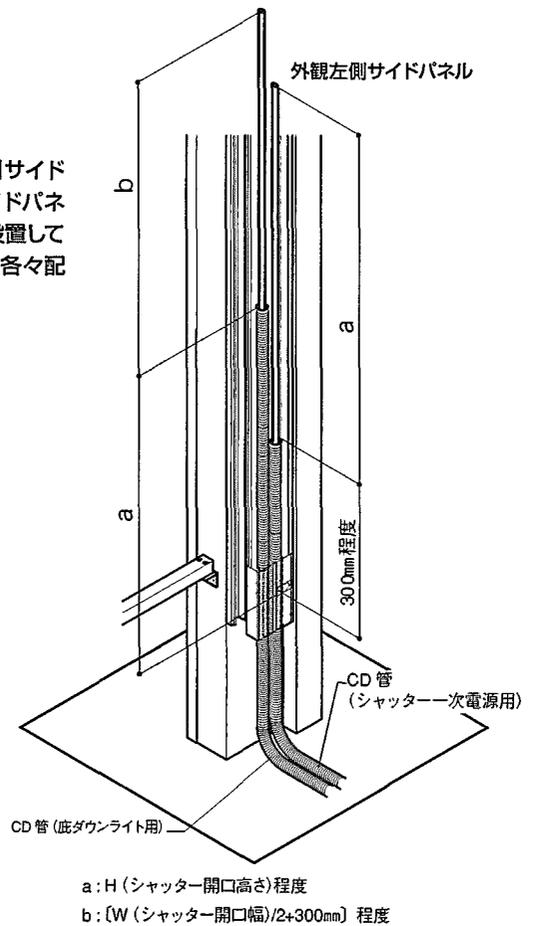
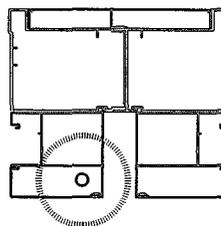
お願い ●屋内配線・電源接続などは、感電やショートの危険があり、また電気工事の資格が必要ですので、最寄りの電気工事店にご依頼ください。

①レールカバーAの【A部】にCD管（呼び16）をGL面より300mm程度立ち上げて設置してください。一次側電源はH(シャッター開口高さ）+300mm程度出しておいてください。
②庇（オプション）付の場合は、ダウンライト配線用のCD管（呼び16）をシャッター一次側電源のCD管の隣に併設し、H（シャッター開口高さ）附近まで立ち上げて設置してください。ダウンライトの電源線(適合線：φ1.6、φ2.0単線)は、CD管の端部から〔W（シャッター開口幅）/2+300mm〕程度出しておいてください。

※一次側電源は、単体の場合は外観左側サイドパネルに、連棟の場合は外観左端サイドパネルと連棟用サイドパネルの外観右側に設置してください。（左右のシャッター取付部に各々配線が必要です。）

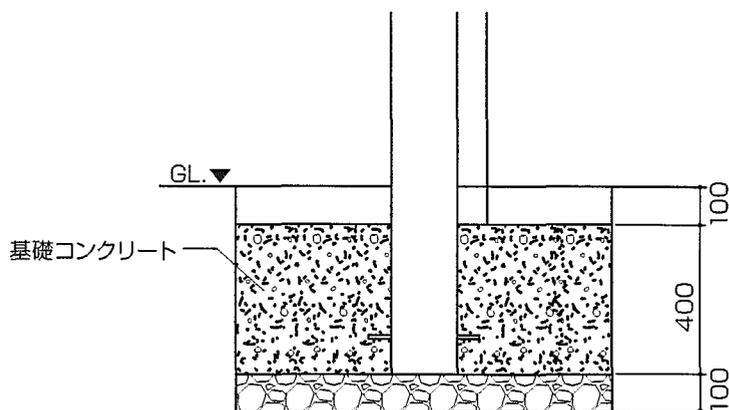
単体用
外観左側サイドパネル

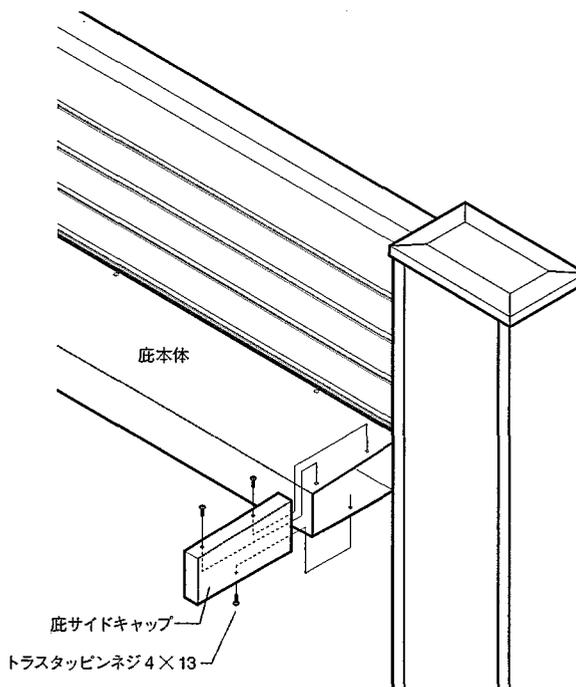
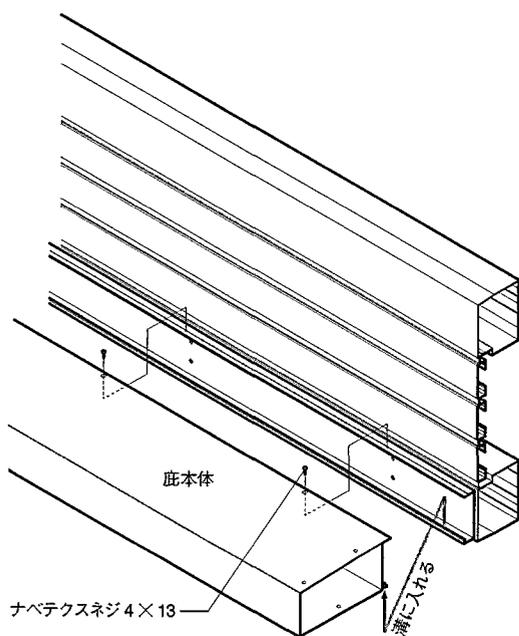
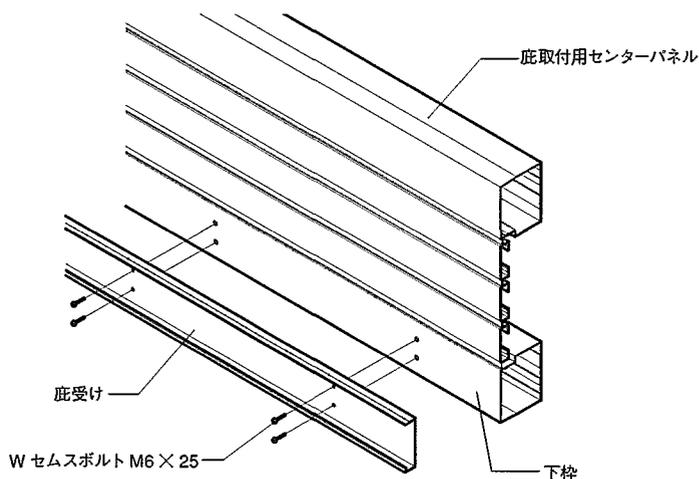
連棟用
連棟用サイドパネル

a：H（シャッター開口高さ）程度
b：〔W（シャッター開口幅）/2+300mm〕程度

配線上のご注意
●電気配線には、必ず過電流保護付きの漏電ブレーカーとアース工事（D 種接地工事）を行なってください。
●合成樹脂管内での電線ケーブルの接続は行なわないでください。
●合成樹脂管の埋め込み深さは、300mm 以上にしてください。
●合成樹脂管の R 曲げを行なうときは、内径の 6 倍以上にしてください。

基礎コンクリート施工

①サイドパネル下部にアンカー棒を通し、GL 面より 100㎜下がった位置まで基礎コンクリートを施工してください。

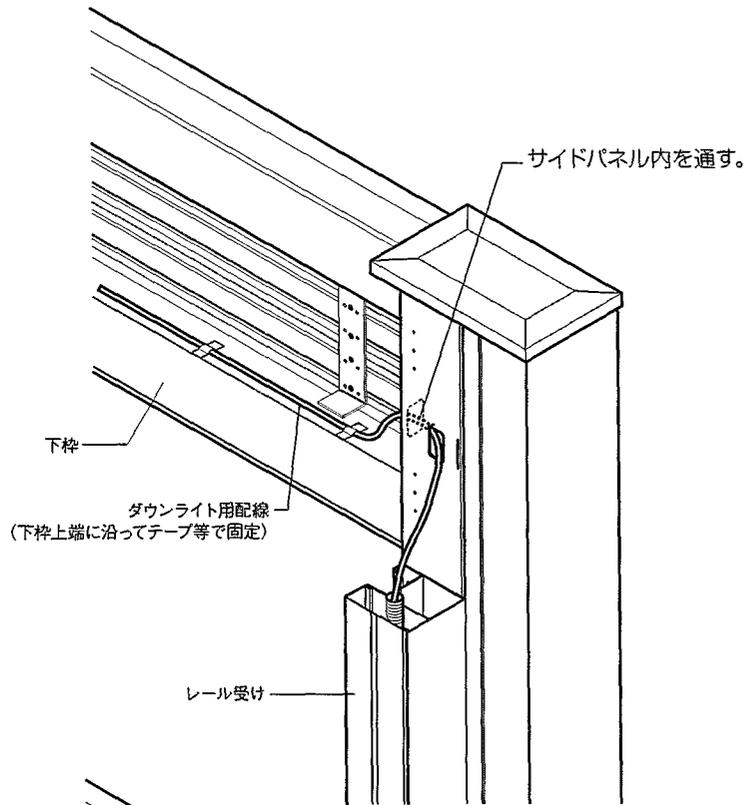
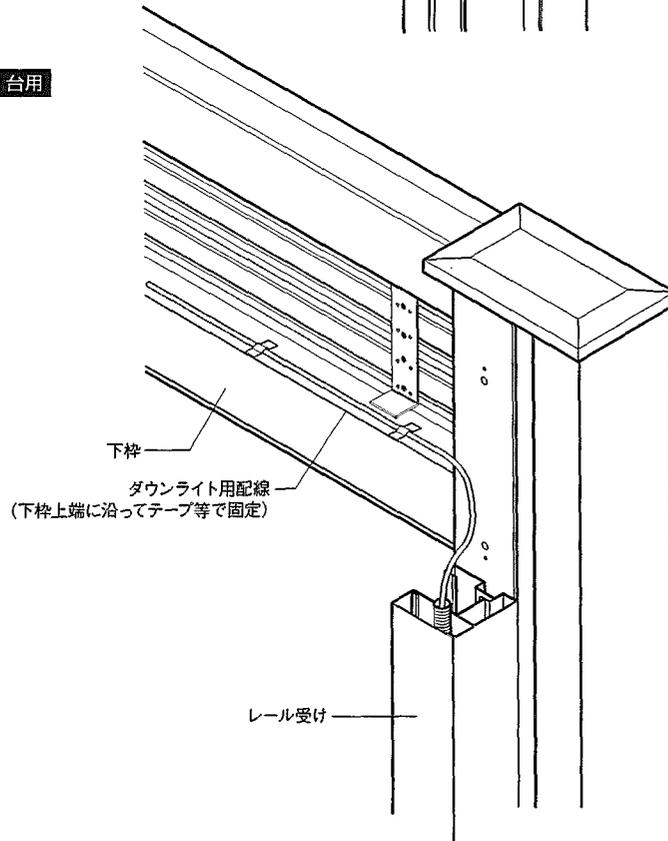
注 意
● GL 面までの土間仕上げは、ゲート及びシャッター取付完了後に行ってください。
● GL 面より上まで土間仕上げを行うと、シャッターレールの設置ができなくなりますので注意してください。

庇（オプション）の取付

①庇取付用センターパネルの下枠に庇受けを取り付けてください。
②庇受けに庇本体を取り付けてください。
③庇サイドキャップを庇の両端に取り付けてください。

庇（オプション）用ダウンライトの取付及び結線工事

①ダウンライトに同胞の取付説明書に従い、ダウンライトを庇本体に取り付け、結線をしてください。

お願い
●屋内配線・電源接続などは、感電やショートの危険があり、また電気工事の資格が必要ですので、最寄りの電気工事店にご依頼ください。

注　意
●ダウンライト用の配線は、通し方が車２台用と１台用とで異なります。右図を参照してください。
●結線後の配線は、シャッターを取り付ける際にじゃまにならないよう、下枠上端に沿ってテープ等で固定しておいてください。

車１台用

車２台用

シャッター取り付け工事の概要

●シャッターの取付け及び電気工事につきましては当社営業所へご依頼ください。

車１台用の場合

①ブラケット・ケースアングルの取付

・ブラケットをトラスタッピンネジ（３種）でサイドパネルに取り付けます。

・ブラケットにケースアングル、ケース補強材、外まぐさ、内まぐさを取り付けます。

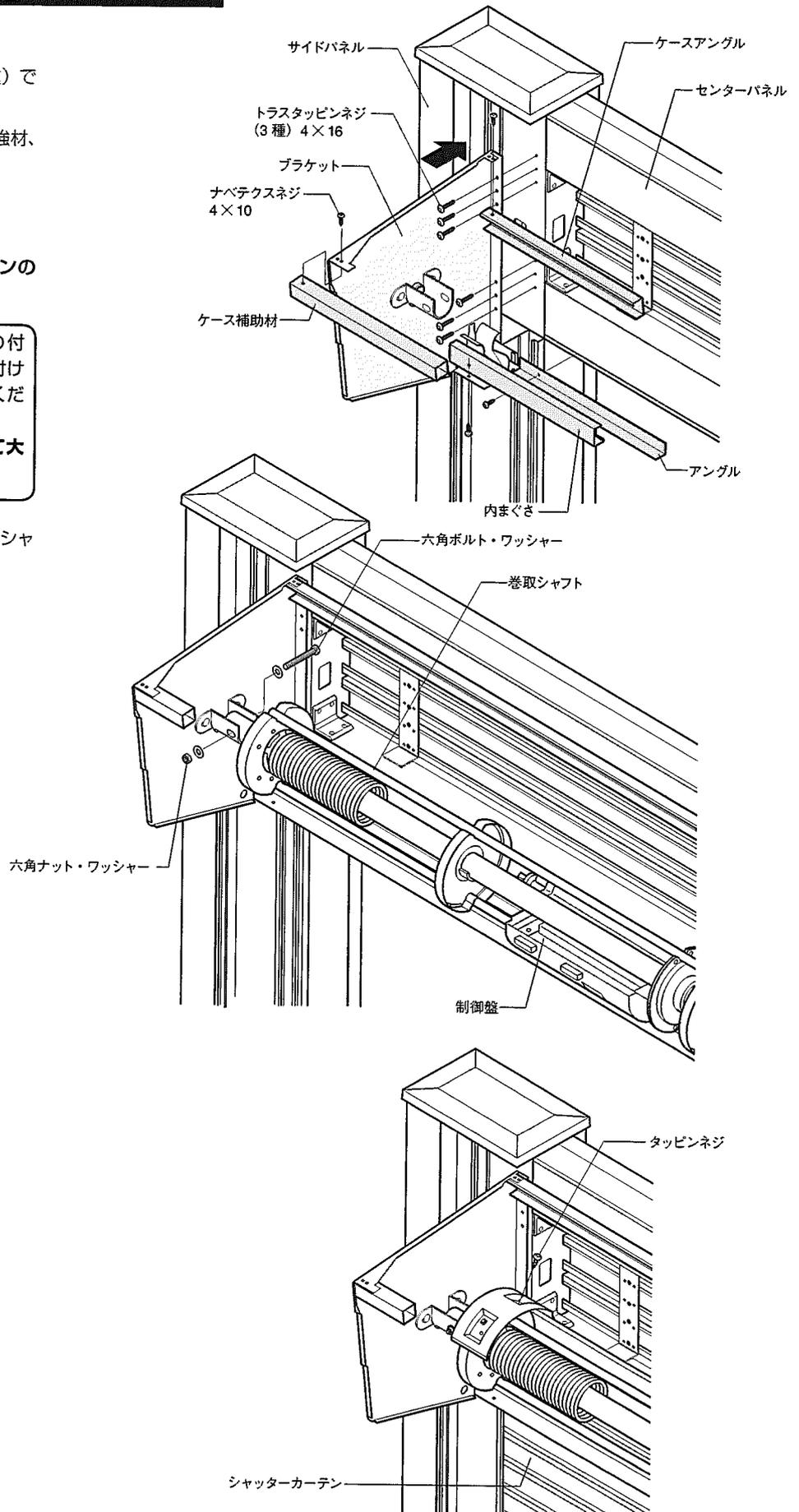
サイドパネル
ケースアングル
センターパネル
トラスタッピンネジ（３種）４×16
ブラケット
ナベテクスネジ４×10
ケース補助材
アングル
内まぐさ

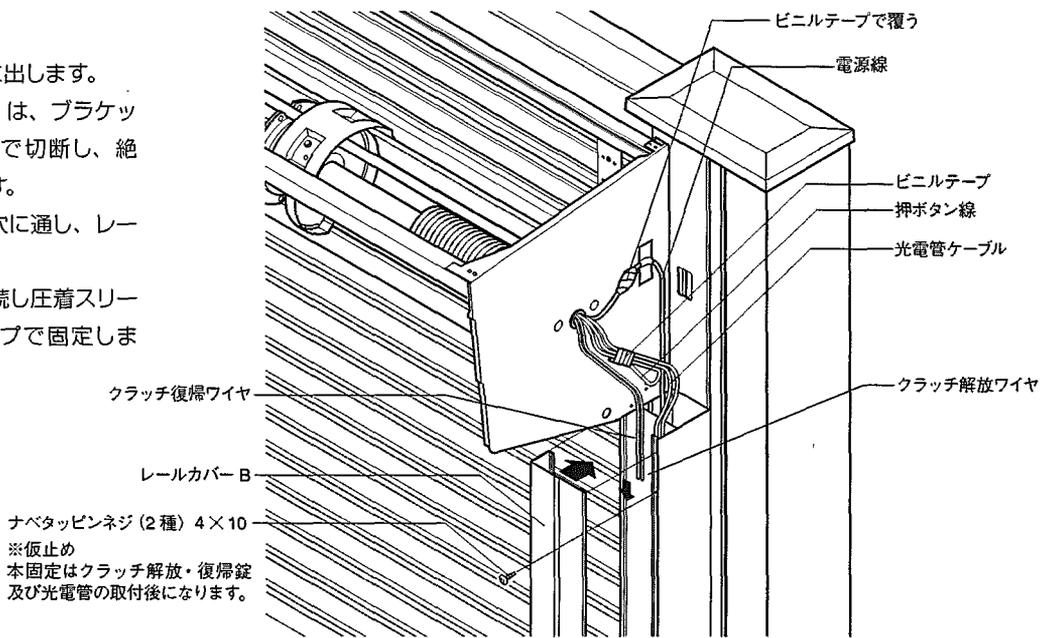
②巻取りシャフト・シャッターカーテンの取付け

注　意	●シャッターカーテンを取り付けるまでは、ホイール取付けピンは絶対に抜かないでください。 **ホイールが激しく回転して大変危険です。**

・開閉機の制御盤を下向きにして、巻取シャフトを軸受けにのせて固定します。

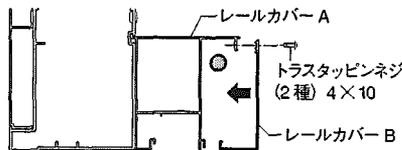
六角ボルト・ワッシャー
巻取シャフト
六角ナット・ワッシャー
制御盤

タッピンネジ
シャッターカーテン

③電線の配線

・電線類をブラケットの外側に出します。
・使用しない線（押ボタン線）は、ブラケットの穴から 250 mm 程度で切断し、絶縁テープで絶縁処理をします。
・電源線をブラケットの配線穴に通し、レールカバー内へ引き込みます。
・電源線を圧着スリーブで接続し圧着スリーブが上向になるようにテープで固定します。

④光電スイッチの取付

車 2 台用のページを参照してください。

注　意　結線は必ず光電スイッチ取付キットに付属の取付説明書に従って確実に防水処理を行ってください。

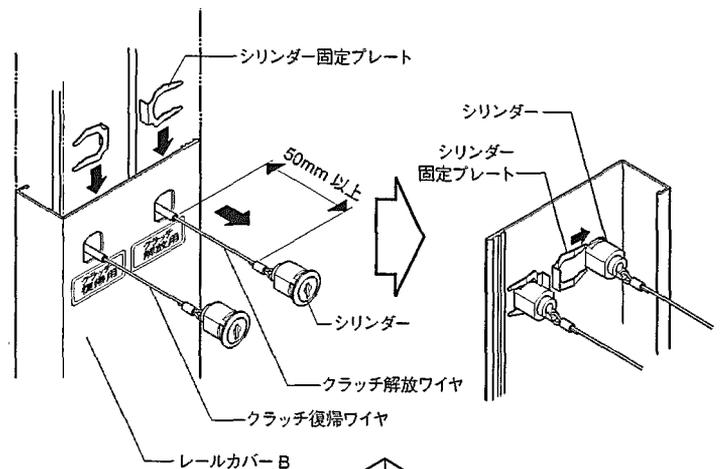
⑤レールカバー A ● 部を利用して配線を行い、レールカバー B を仮止めして動作確認を行ってください。

・クラッチ復帰ワイヤ（先端赤色マーキング付き）とクラッチ解放ワイヤをレールカバー内に通します。
（11 頁の図参照）

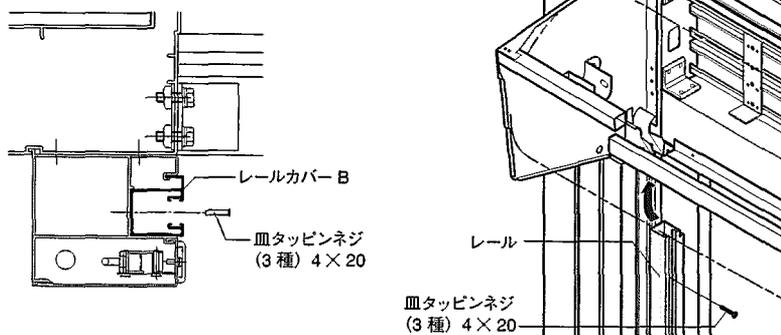
⑥クラッチ操作ワイヤの取付け

・クラッチ解放ワイヤ / クラッチ復帰ワイヤの 2 本ワイヤがあります。
・クラッチ復帰ワイヤのみ先端に赤色のマーキングが有ります。

取付手順

(1) クラッチ解放錠、クラッチ復帰錠をレールカバー B の切欠き部に取付けます。（クラッチ解放錠を右側、クラッチ復帰錠を左側に配置します。）
(2) クラッチ復帰ワイヤ（先端赤色マーキング付）をガイド側のシリンダの穴に通してスリーブでかしめます。
　クラッチ解放ワイヤを配線プレート側のシリンダの穴に通してスリーブでかしめます。このとき、ワイヤストロークは 50mm 以上確保してください。

・すべてのチェック完了後、レールカバー B を本固定してください。

■レールの取付け

シャッターを上げた状態で取付けを行ってください。
・レール本体先端（切欠きのある側）をブラケットのガイド凹部に差し込み皿タッピンネジ（3 種）4 × 20 でレールカバー A に固定します。

車２台用の場合

①ブラケットの取付

・サイドパネルへブラケットを六角セムスボルト M12 × 30 で取り付けます。

②シャッターの取付けはシャッターの施工要領を参照してください。

③レールの取付け

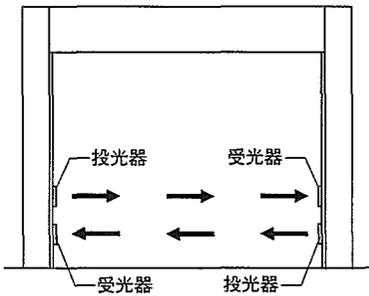
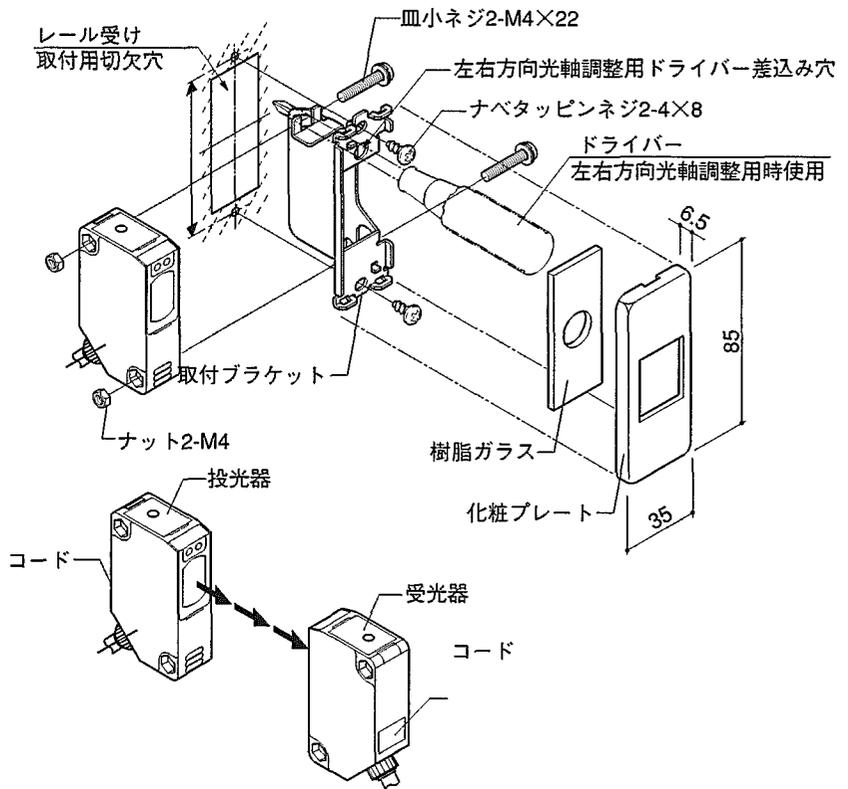
シャッターを上げた状態で取付けを行ってください。

・レールカバーＡの長穴加工部でレールをナベタッピンネジ（2 種）4 × 6（5 本）で仮固定してください。

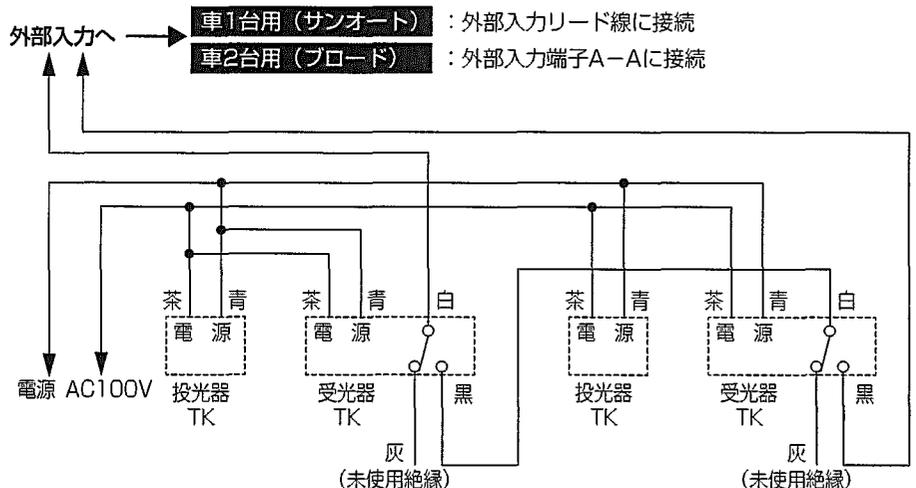
・開口寸法等微調整後、レールカバーＡの穴に合わせ、レールに下穴加工（φ 3.5）をし、ナベタッピンネジ（2 種）4 × 6（5 本）で固定してください。

④光電スイッチの取付

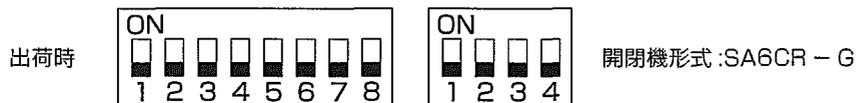
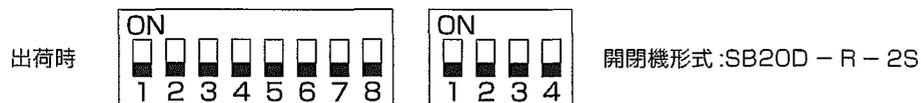
光電スイッチ取付け上の注意点

・光電スイッチは投光器と受光器各 1 個が 1 組で、本商品には 2 組取り付けます。
取付けに際しましては、下図を参照に投光器・受光器を間違えないよう取り付けてください。

・光電スイッチ本体を取付けブラケットにネジ止めし、レール受け切欠き部にナベタッピンネジ(3 種)4 × 8 で固定します。
・樹脂ガラス・化粧プレートを嵌め込みます。

⑤接続方法

1) 次の接続図を参照して結線してください。
なお、受光器の灰色線は使用しませんので、絶縁テープで絶縁してください。

注) 光電スイッチを接続しないとシャッターは正常に動作しません。
ただし、リミット設定モードでの動作は可能です。

2) 制御盤ディップスイッチ

ディップスイッチの変更は行いません。
光電スイッチを正しく接続した状態でシャッターの動作が正常でない場合は、下記設定通りになっているか確認してください。

車1台用（サンオート）

出荷時
開閉機形式 :SA6CR－G

設定を変更した場合は、**必ず電源を2秒以上切るか設定スイッチを2秒以上押してください。**

車2台用（ブロード）

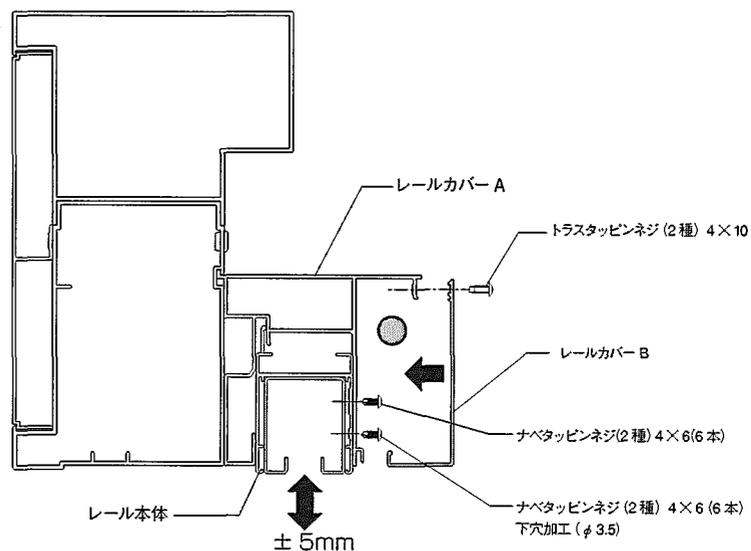
出荷時
開閉機形式 :SB20D－R－2S

設定を変更した場合は、**必ず電源を2秒以上切るか設定スイッチを2秒以上押してください。**

注　意　結線は必ず光電スイッチ取付キットに付属の取付説明書に従って確実に防水処理を行ってください。

⑤レールカバーA ◯ 部を利用して配線を行い、レールカバーBを仮止めして動作確認を行ってください。
すべてのチェック完了後、レールカバーBを本固定してください。

⑥ケースの取付け

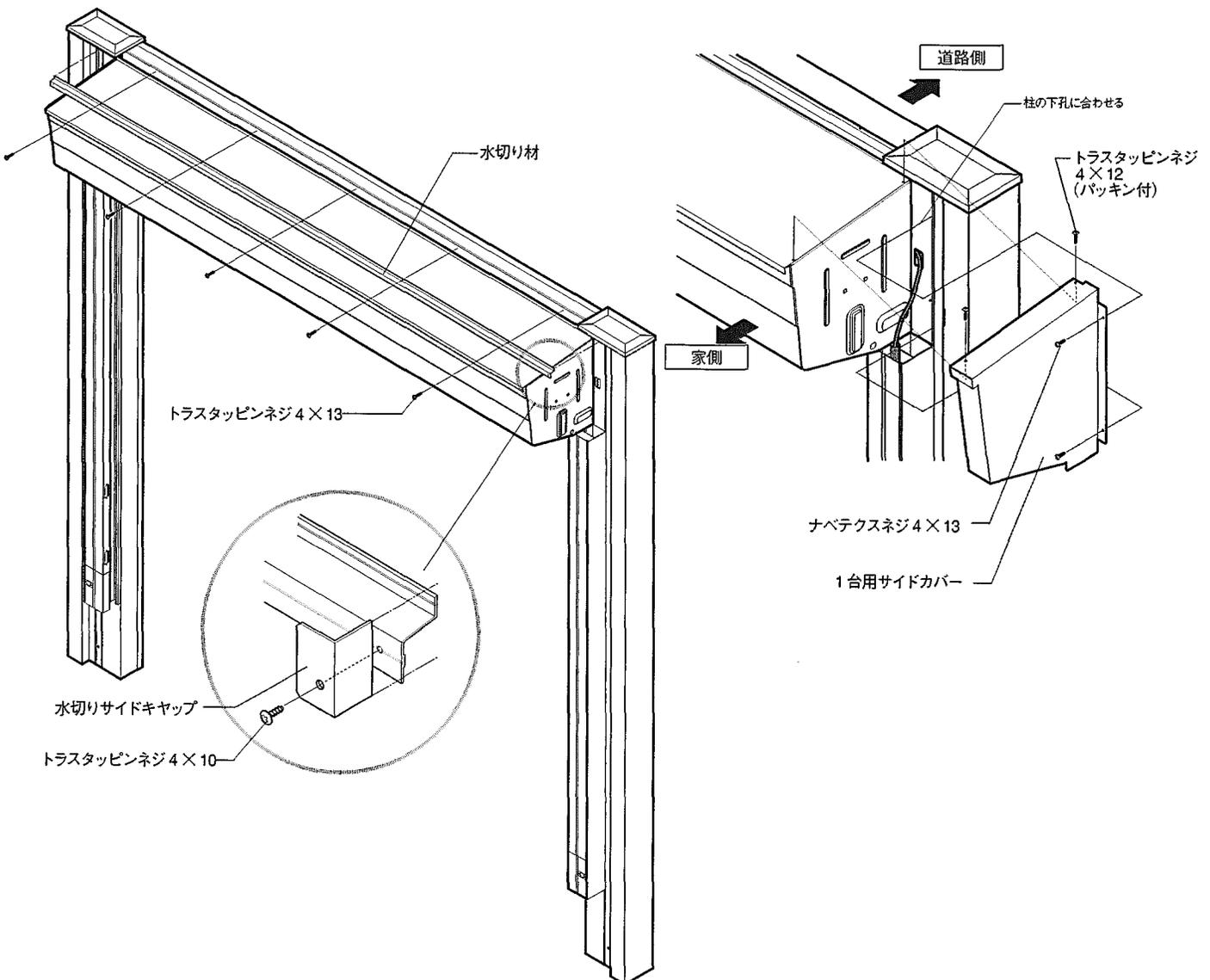
・シャッターに付属のケースの取付け説明書を参照してください。

外壁仕上げ等

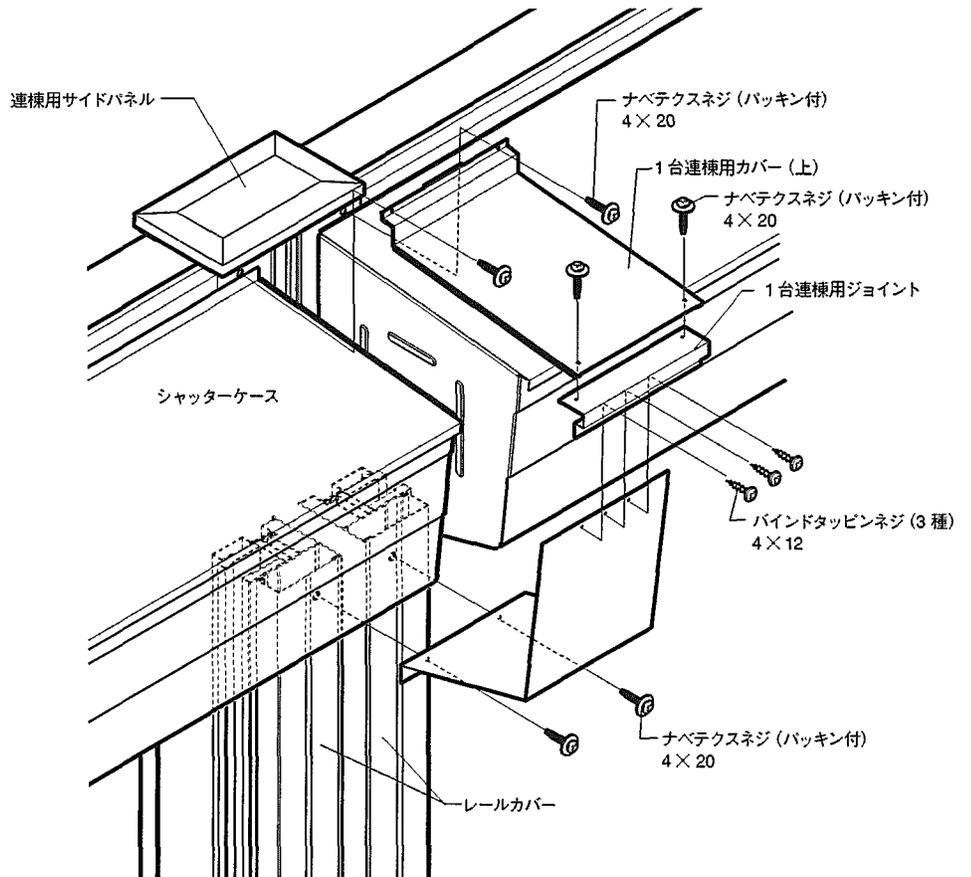
外壁仕上げ（下地ボードタイプの場合）

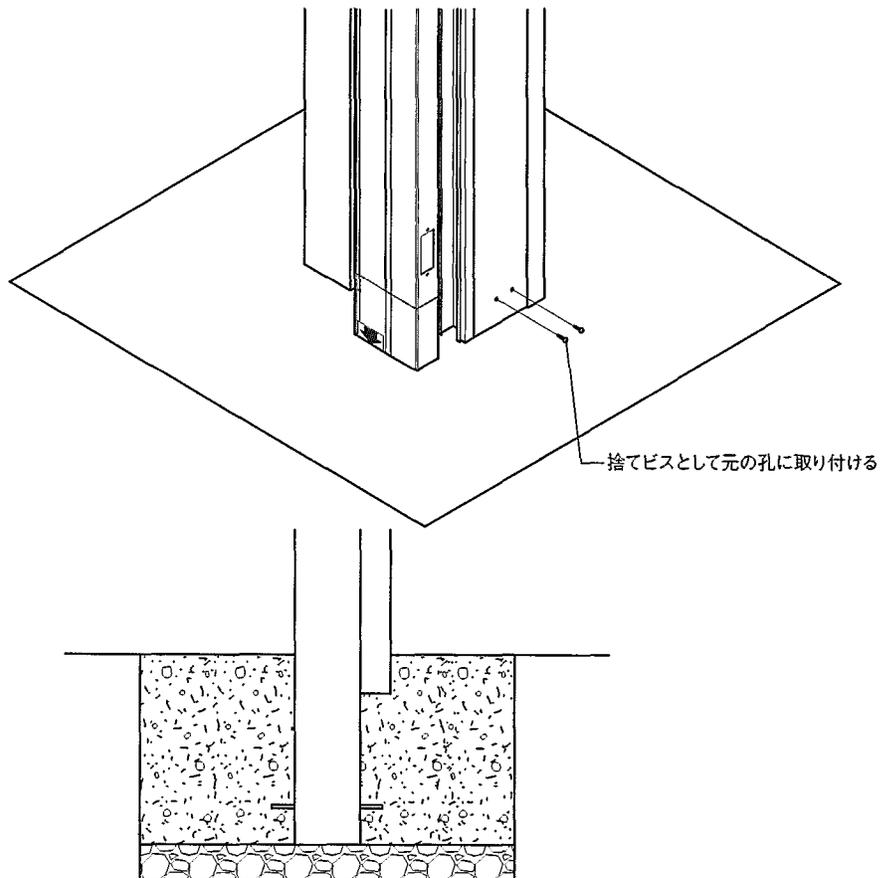
●下地ボード部分を外壁仕上げしてください。

注　意
●仕上げ厚は 20mm 以下にしてください。またその場合も、モルタルを含めた重量を 40kg/ 以下にしてください。
●ゲート施工後、下地ボードが汚れないうちに速やかに仕上を行ってください。
●施工の際に下地ボードの突合せ部に隙間が生じてしまった場合は、変性シリコンにてシールを施してください。
●仕上前に平はけ、またはエアーブラシにてちり、ホコリ等を除去してください。
●汚れの激しい場合は水洗いの上、仕上げ工事直前にモルタル接着増強剤（ハイフレックス２～４倍液等）を塗布してください。
●雨等で表面がぬれている場合は、モルタルが付き難くなりますので、表面の水分を拭き取ってから仕上げを行ってください。
※仕上方法については 25 ページをご覧ください。

水切り・１台用サイドカバーの取付

①センターパネル上枠の家側上端に水切り材を取り付けてください。
②水切り材の両端に水切りサイドキャップを取り付けてください。
③１台用サイドカバーをシャッターケースにセットしサイドカバーに取り付けてください。

1台連棟用カバー材の取付け

①1台連棟用カバー（上）を連棟用サイドパネルに取り付けてください。
②1台連棟用ジョイントを1台連棟用カバー（上）の下に差し込み、取付穴位置を合わせ、ナベテクスネジ（パッキン付）でシャッターケースに固定します。
③1台連棟用カバー（下）を1台連棟用ジョイントの下にセットし、バインドタッピンネジ（3種）で取り付けます。下部はレールカバーにナベテクスネジ（パッキン付）で取り付けてください。

土間コンクリート仕上げ

①幅決め材と幅決め材取付アングルを外して、幅決め材取付アングルを取り付けていたビスを、捨てビスとして再度取り付けてください。
②土間コンクリートをGL面まで打設してください。

注　意
- 修理等の際シャッターの着脱が出来なくなりますので、レールを埋め込まないようにしてください。
- シャッターの座板が接地する部分は、水平に仕上げてください。

基本図

形材パネル仕様

車1台用

下地パネル仕様

車1台用
■縦断面図
フラットパネルキャップ
水切り材
水切りサイドキャップ
上枠
上下枠取付アングル
シャッター芯
道路側
家側
フラットパネル枠A
下枠
1台用サイドカバー
■M1型・横断面図
道路側
前面パネル組立金具(1台用)(3本)
全幅:GW+570=3435
サイドパネル内々:GW=2865
(P=632.5)×4=2530
P=632.5
シャッター芯
シャッター開口幅:W=GW-5=2860
CD管要配置(電動sh.の場合)
家側
シャッターケース
■M2型・横断面図
道路側
前面パネル組立金具(1台用)(3本)
全幅:GW+570=3435
サイドパネル内々:GW=2865
(p=632.5)×4=2530
p=632.5
シャッター芯
シャッター開口幅:W=GW-5=2860
CD管要配置(電動sh.の場合)
家側
シャッターケース

下地パネル仕様

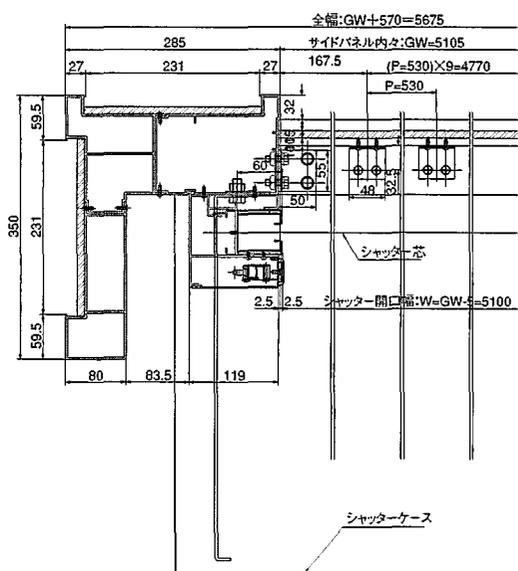
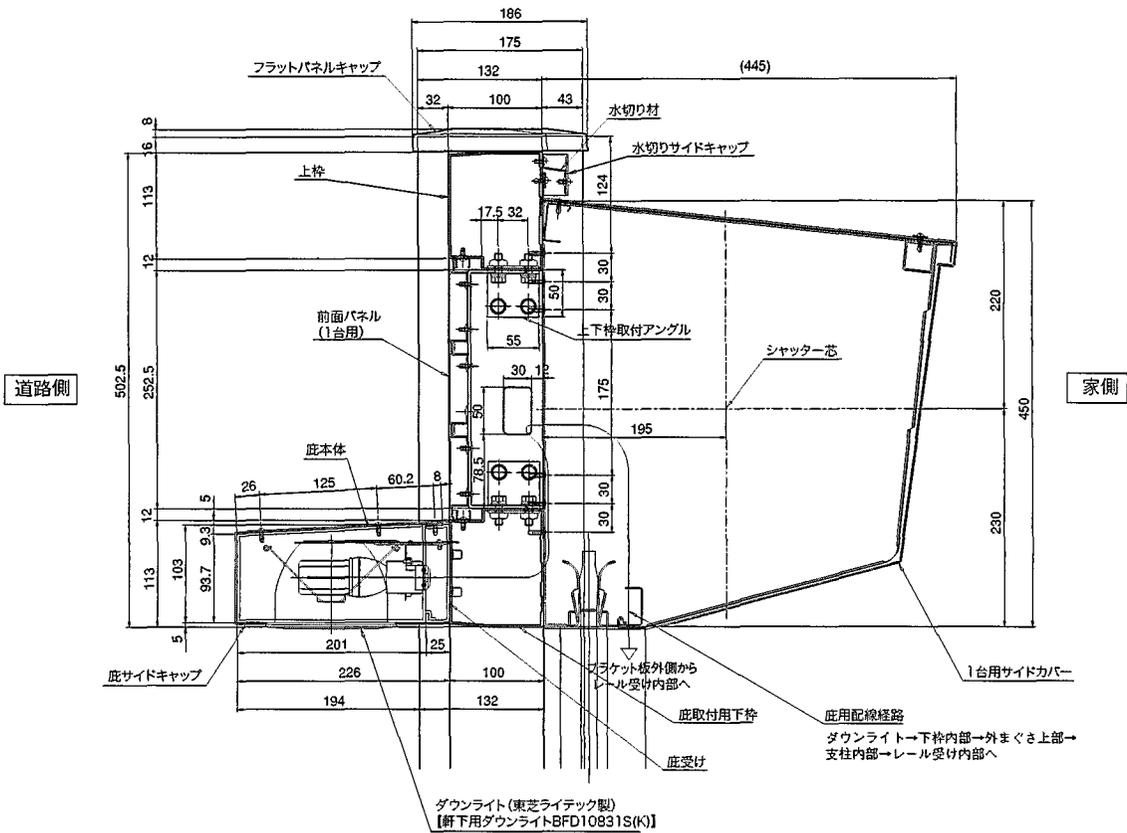
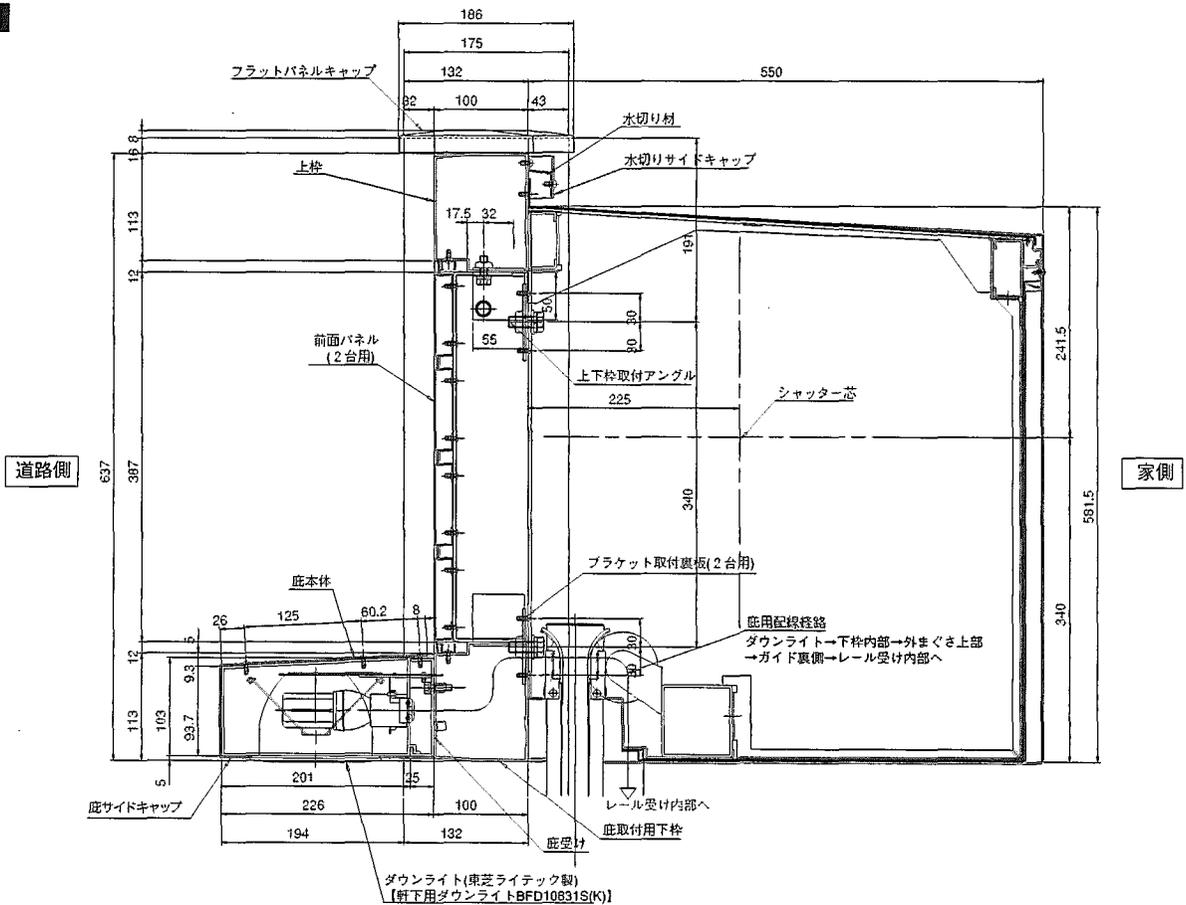
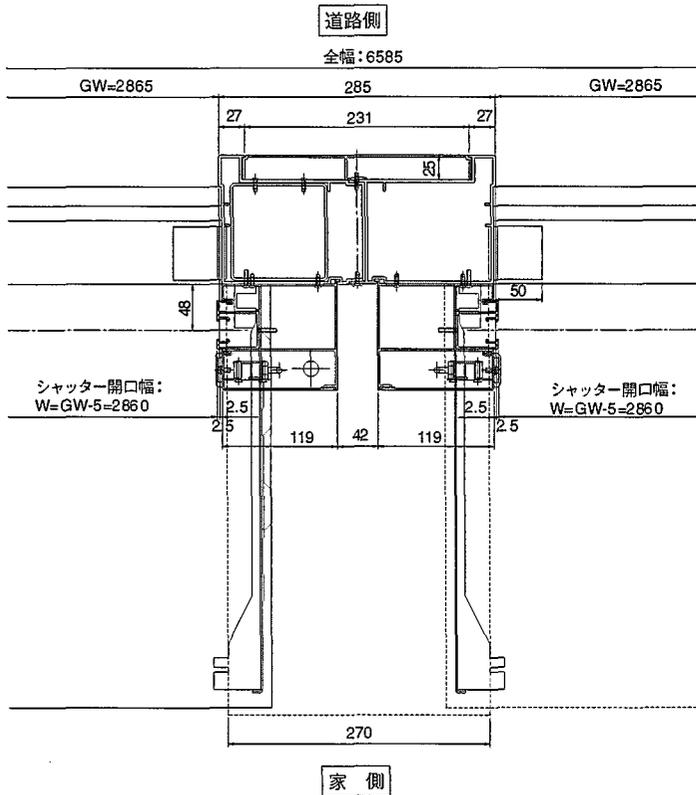
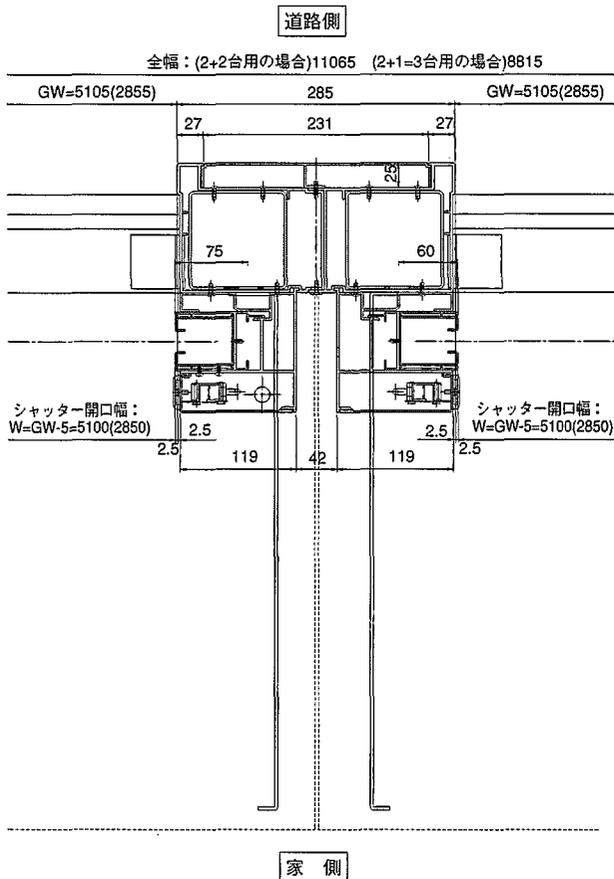
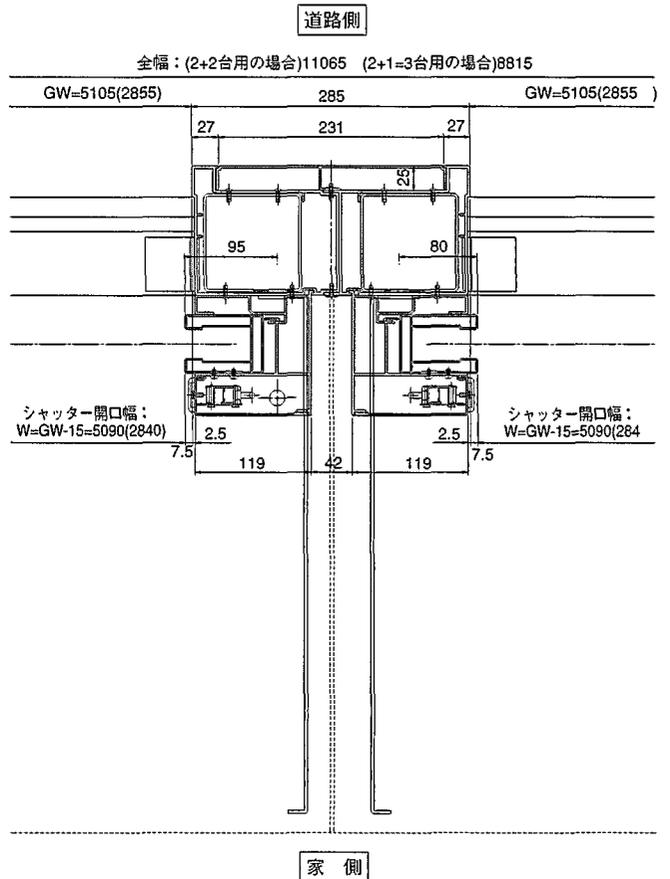
車2台用

■庇（オプション）納まり

車1台用
186
175
132
(445)
32
100
43
フラットパネルキャップ
水切り材
水切りサイドキャップ
上枠
17.5 32
前面パネル
(1台用)
上下枠取付アングル
シャッター芯
道路側
家側
庇本体
26
125
60.2
8
195
220
450
230
502.5
252.5
113
201
25
226
100
194
132
庇サイドキャップ
ブラケット板外側から
レール受け内部へ
庇取付用下枠
庇受け
1台用サイドカバー
庇用配線経路
ダウンライト→下枠内部→外まぐさ上部→
支柱内部→レール受け内部へ
ダウンライト(東芝ライテック製)
【軒下用ダウンライトBFD10831S(K)】
車2台用
550
前面パネル
(2台用)
225
241.5
581.5
340
637
387
ブラケット取付裏板(2台用)
庇用配線経路
ダウンライト→下枠内部→外まぐさ上部
→ガイド裏側→レール受け内部へ
レール受け内部へ

基本図（連棟サイドパネル部）

■形材パネル仕様

■下地パネル仕様

車２台用連棟（1+1 台用）
道路側
全幅：6585
GW=2865
285
GW=2865
27
231
27
48
50
シャッター開口幅：
W=GW-5=2860
2.5
2.5
119
42
119
2.5
2.5
270
家 側
車４台用連棟（2+2 台用）／車３台用連棟（2+1 台用）
【パイプシャッター納まり】
道路側
全幅：(2+2台用の場合)11065 (2+1=3台用の場合)8815
GW=5105(2855)
285
GW=5105(2855)
27
231
27
75
60
シャッター開口幅：
W=GW-5=5100(2850)
2.5
2.5
119
42
119
2.5
2.5
家 側
【アルミ・ハイリンクシャッター納まり】
道路側
全幅：(2+2台用の場合)11065 (2+1=3台用の場合)8815
GW=5105(2855)
285
GW=5105(2855)
27
231
27
95
80
シャッター開口幅：
W=GW-15=5090(2840)
2.5
2.5
7.5
119
42
119
7.5
家 側

下地ボードの仕上方法について

四国化成工業（株）製のパレットを用いた仕上を行う場合

●下地ボードの繋ぎ目に隙間がある場合は変性シリコンを充填してください。下地ボードの繋ぎ目をJ-ファイバーテープで補強後、SKカチオンプラスターを1mm程度、2回塗りします。
●充分に養生（夏期1日以上、冬期2日以上）を行った後、パレットを塗り仕上ます。上塗りは2回塗り（仕上厚は1〜2mm）を標準としてください。また、施工時・養生時とも雨がかからないようにしてください。

●更に防汚効果を持つスーパートップコートを塗ると後々のお手入れが大変楽になります。
（各々の材料の取扱に関しては、梱包にかかれている説明、あるいは同梱されている説明書をご覧ください）

ご注意：模様付けなし仕上は出来ません。必ず模様付けを行ってください。寒水石は混入しないでください。

その他塗装仕上げの場合

●下地ボードの繋ぎ目に隙間がある場合は変性シリコンを充填してください。
・下地ボードに欠損を生じた場合には、「太平洋マテリアルマイルド-2」等を用いて修正してください。
・下地ボード繋ぎ目をファイバーテープで補強してください。

〔太平洋マテリアル製 KSM を使う場合〕

●モルタル塗りつけの 3 時間以上前までに下地ボードの表面に KSM エマルジョンの 3 倍液を刷毛で塗布してください。（推奨）
・KSM#30 または #50 には KSM エマルジョンを混練してください。（混合比は商品に記載してあります）
・下塗りは混錬する水の量を 10 〜 15%程度少なくしてください。
・KSM#30 または #50 を 5mm 程度下塗りし、生乾きの状態で耐アルカリガラス繊維ネット (スーパークラックノン・日本電気硝子（株）等) を全面に伏せ込み、同じ材料で点付けして動かないようにしてから、3 〜 5mm 程度中塗りしてください。
・#30または#50であれば同日の施工は可能です。但し気温･湿度等により変わります。
・中塗りは規定の混合比にしてください。
・GLから約 100mm は目地を設けて巾木処理としてください。
・施工後、急激な乾燥を避けるように養生してください。
・充分に養生期間を置いた後、上塗りは仕上材の仕様にしたがって行ってください。

〔昭和電工製ハイモルを使う場合〕

●ハイモルスーパー #30 または #100 とハイモルエマルジョンを用いて同様の仕上が可能です。

ご注意：・上塗りには微弾性の塗料を使用してください。（パレットは微弾性塗料です。）
・微弾性の塗料を使用した場合でも経年変化で塗装面に細かいひびが入る場合があります。
・弾性のない塗料を使用した場合はひびの入る可能性が高くなります。
・弾性塗料を使用した場合はまれに塗装面に膨れが発生する場合があります。
・上記の症状は塗装の性質上、完全に回避する事はできません。（パレットにおいても同様です。）
・エポキシ樹脂系塗料の施工は避けてください。
・連棟仕様の場合は必ず連棟用サイドパネルとセンターパネル間を変性シリコンを用いて亀裂誘発目地を設けてください。

タイル貼りの場合

〔改良圧着貼り〕

・下地ボードの繋ぎ目をファイバーテープで補強してください。
・タイル接着用プレミックスモルタル（太平洋圧着セメント等）を製品の仕様に従い混錬して（混錬する水の量は 10 〜 15%程度少なくしてください。）5mm 程度塗りつけてください。
・タイル接着用プレミックスモルタルを用いて改良圧着貼りにてタイルを施工してください。

〔接着剤貼り〕

・下地ボードの繋ぎ目をファイバーテープで補強してください。
・タイル貼り用接着剤を用いて接着貼り用タイルを貼る事が出来ます。

ご注意：仕上げ厚はモルタル厚を含み20mm以内にしてください。また、モルタルを含む仕上の重量は40kg/㎡以下に抑えてください。

■電動装置の仕様

●電動装置は、「単体」の場合は１セット・「連棟」および「3 台用」の場合は２セットとなります。

項目		２台用・３台用	１台用
開閉機	出力	200W	40W
	定格電圧	AC100V（50/60Hz）	AC100V（50/60Hz）
	定格電流	3.6A（50Hz）/ 4.6A（60Hz）	1.8A（50Hz）/ 1.9A（60Hz）
	時間定格	10 分	5 分
使用周囲温度		-10 ～ 40℃	
開閉時間（H=2300）		約 20 秒（50Hz）	約 31 秒（50Hz）
操作		リモコン×３	リモコン×２
安全装置		光電スイッチ×２組	
ハンディータイプリモコン送信機	電池	CR2025 型リチウム電池（3.0V）×１	
	送信距離	40 ～ 80m（ただし、周囲の電波環境や障害物等により大きく変化することがあります。）	

取説コード:ZZZ－5543C　2008 年４月現在

■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　　月　　日
施工工事店	TEL（　　　）　　-
販売店	TEL（　　　）　　-

新日軽株式会社
本社／〒136-0076
東京都江東区南砂２－７－５

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合せください。
お客様相談室　0120-37-2534

東北エクステリア支店…………☎022-297-3354
関東エクステリア支店…………☎03-5677-8729
名古屋東海エクステリア支店……☎052-731-1920
大阪エクステリア支店…………☎06-6479-3234
中四国エクステリア支店………☎082-544-4144
九州エクステリア支店…………☎092-523-8890
札幌住宅建材支店……………☎011-219-7511
東北住宅建材支店……………☎022-297-3364
関信越住宅建材支店…………☎027-328-2881
関東住宅建材支店……………☎03-3842-7123
中部東海住宅建材支店………☎052-731-1911
大阪住宅建材支店……………☎06-6390-1331
中四国住宅建材支店…………☎082-544-4136
九州住宅建材支店……………☎092-523-7007
●電話番号、住所は移転等やその他の理由で変更になる場合があります。ご了承ください。

新日軽インターネットホームページ　http://www.shinnikkei.co.jp